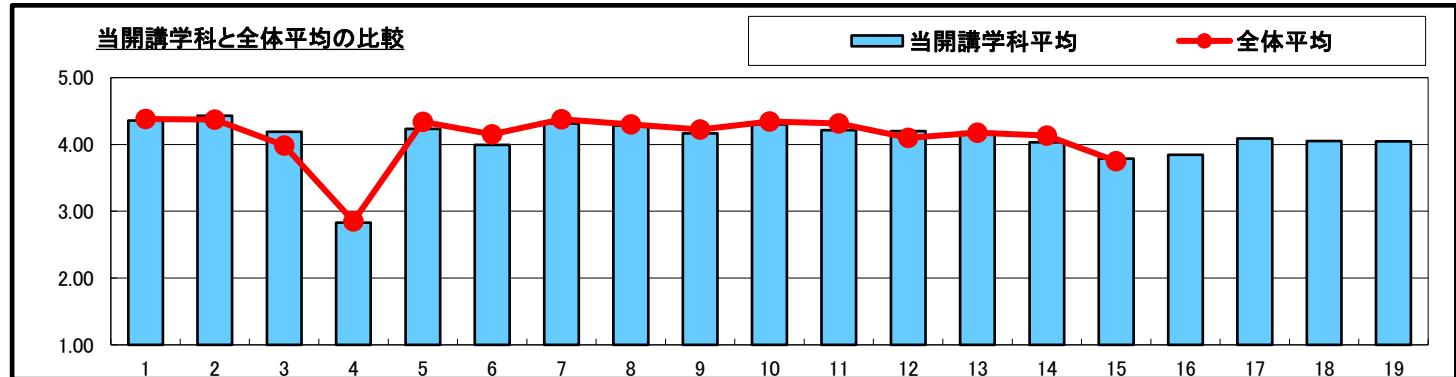


2025年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	作業療法学科					履修者数	321				
						回答者数	264				
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)										
	1年	2年	3年	4年		無効回答					
	31	86	122	25		0					
	11.7	32.6	46.2	9.5		0.0					
No.	設問文			平均	回答者数／構成比 (%)						
	5	4	3	2	1		有効回答	無効回答			
▼全学部共通の質問項目											
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった			4.36	135 51.1	96 36.4	27 10.2	4 1.5	2 0.8	264	0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった			4.43	148 56.1	86 32.6	26 9.8	3 1.1	1 0.4	264	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）			4.19	112 42.4	101 38.3	42 15.9	7 2.7	2 0.8	264	0
▼学部レベルの質問項目											
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）			2.83	2時間以上 44 16.7	1時間以上 31 11.8	30分以上 81 30.8	30分未満 50 19.0	全くしていらない 57 21.7	263	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた			4.23	125 47.5	85 32.3	46 17.5	3 1.1	4 1.5	263	1
6	この科目の難易度は適切であった			3.99	96 36.4	94 35.6	56 21.2	12 4.5	6 2.3	264	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった			4.32	136 51.7	85 32.3	34 12.9	5 1.9	3 1.1	263	1
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った			4.28	126 47.7	97 36.7	34 12.9	3 1.1	4 1.5	264	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった			4.17	118 44.9	93 35.4	39 14.8	4 1.5	9 3.4	263	1
▼教員個人レベルの質問項目											
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった			4.30	136 51.7	87 33.1	28 10.6	7 2.7	5 1.9	263	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった			4.22	125 47.3	88 33.3	39 14.8	7 2.7	5 1.9	264	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた			4.20	115 43.7	103 39.2	34 12.9	5 1.9	6 2.3	263	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた			4.19	119 45.2	92 35.0	39 14.8	8 3.0	5 1.9	263	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた			4.03	99 37.5	99 37.5	49 18.6	9 3.4	8 3.0	264	0
15	この授業のシラバスを読みましたか			3.79	十分に読んだ 84 31.8	よく読んだ 90 34.1	どちらともいえない 57 21.6	ほとんど読まなかつた 16 6.1	全く読んでいない 17 6.4	264	0
▼学科設問											
16	この科目の到達目標に対する自分の達成度			3.84	67 25.5	109 41.4	70 26.6	13 4.9	4 1.5	263	1
17	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して、臨床実習に向けた自分の意欲がどう変化したか			4.09	89 33.7	119 45.1	50 18.9	2 0.8	4 1.5	264	0
18	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して国家試験に対する理解がどう変化したか			4.05	85 32.2	119 45.1	52 19.7	5 1.9	3 1.1	264	0
19	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して自分の将来像に影響があったか			4.05	95 36.0	99 37.5	60 22.7	7 2.7	3 1.1	264	0



2025年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	作業療法学科
講評者	学科長 遠藤 浩之

設問	講評
設問 1~3 「全学部共通の質問項目」について	学習環境やクラスサイズへの満足度は高い。また、周りの学生の熱意を感じられたという項目も平均 4.19 と好評価であるが、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」が 9 回答ある。どの学生もクラスの中で、学習意欲を高くもって参加できるような取り組みが必要と考える。
設問 4~9 「学部レベルの質問項目」について	「シラバスに則した内容の授業」が平均 4.23 と高い評価を得ている。しかし、昨年度よりは向上したものの「授業時間外学修」については平均 2.83 と依然として低い。約 20%の学生が「全くしていない」と回答しており、授業外での学修習慣の定着が課題と言える。 また、「この科目の難易度は適切であった」は平均 3.99 であり、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」が 18 回答ある。ここには表れていないが、再試になる学生も非常に多い。本学はセラピストの養成校であることから、基本的にはライセンスの取得が可能となる国家試験を想定した授業の水準を担保することが望まれる。ただし、その水準で授業を行った場合、学生が難しく感じた内容を聴取するとともに、十分な理解が得られなかった内容をわかりやすく解説して理解を促すことを周知したい。

設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	<p>「教員の話し方（平均 4.30）や板書・スライドなどの資料（平均 4.22）が非常に高く評価されている一方で、「学生の受講態度への注意」は平均 4.03 と、他の教員関連項目と比較し評価がやや低めであった。これは質問項目 3（学生の熱意）にも影響を与える結果と捉える。</p> <p>「シラバスを読んだか」という設問では、「あまり読まなかった」「全く読んでいない」をあわせると 33 回答あり、全体の約 12%を占めている。これまでこの項目の得点が低い傾向とされた対策として、今年度より各教員が、授業開始時（1 コマ目のオリエンテーション）にシラバスの説明を必ず行うようにしたが、一部の学生は教員が初回授業時にシラバス内容を説明したことすら理解できていないことがわかった。従って、今後も初回授業時に各教員がシラバスを説明することは徹底し、その場で学生の理解が得られたかの確認を強化したい。また、新システム UNIPA になりシラバスへのアクセスがしやすくなつたため、学生と教員に活用を促したい。</p>
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	専門科目を受講していても、臨床実習・国家試験・将来像について、20% 程度の学生が意欲・理解・影響につながっていないようなので、指導教員との面談などでこれについて聴取し、対策を検討したい。